

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-22	高等学校	地理歴史科	世界史B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2東書	世B311	新選世界史B		

1. 編修の基本方針

1 世界の歴史の大きな流れと横のつながりをつかむ教科書

- ・世界の歴史の大きな枠組みと展開を理解させ、広い視野で現代の諸課題について考察させることによって歴史的な思考力・判断力・表現力を培うことを重視した。
- ・本文は、用語の羅列にならないよう時代背景や出来事の関連性などを書き込み、歴史の流れを理解しやすい記述を心がけた。したがって、本文には注を付していない。
- ・図版は、豊富に盛り込みながらも本文が読みやすいように配置し、見やすくシンプルな紙面を心がけた。
- ・各章の冒頭に設けた見開きページでは、これから学習する地域や時代を概観するとともに、同時代の横のつながりが大まかにつかめるよう配慮した。章の導入としても、章を学習した後のまとめとしても活用できるよう工夫した。
- ・巻末の「世界史年表」では、地域世界の横のつながりが理解しやすいように工夫した。

2 生徒が興味をもって楽しく主体的に学ぶ教科書

- ・小学校、中学校の学習で見慣れている写真、はじめて見るであろう写真を織り込みながら、視覚的にも楽しく学べる教科書をめざした。図版にはキャプションを丁寧に付すよう心がけた。
- ・コラム「世界史の窓」ではさまざまなテーマを取り上げ、生徒の視野を広げ、歴史的な思考力を高めることをめざした。
- ・人物コラム「Person」では、さまざまな時代、地域に登場する人物を紹介し、その人となりを知ることによって、生徒が歴史を身近に感じ、歴史への興味・関心を深めることができるようにした。
- ・第1～6章冒頭の見開きページでは地域の風土や生活が理解できるような地図・写真を配し、第7～12章冒頭の見開きページでは興味深い写真を大きく提示し、第13章冒頭の見開きページでは地図やグラフから歴史を読み取らせるなど、生徒の興味をひく構成にした。
- ・「世界史への扉」「時間軸からみる諸地域世界」「空間軸からみる諸地域世界」「資料からよみとく歴史の世界」では生徒が親しみやすいテーマを取り上げ、課題に取り組みやすくした。また、主体的な学習（アクティブ・ラーニング）ができるように、手がかりを提示した。

3 地球世界の形成・発展に主体的に参画する自覚と資質を養う教科書

- ・世界の諸国・諸地域の歴史と我が国の歴史を関連付けて学ぶことを通し、国際理解と国際協調の重要性を認識し、地球社会に生きる一員として、また日本国民としての自覚と資質を養うことをめざした。
- ・科目の導入として学習する「世界史への扉」では、主題を設定し考察する活動を通して、地球世界の形成へとつながってきた世界の歴史を学習する意義に気付かせるようにした。
- ・部扉で同時代の日本を概観し、世界の歴史と日本の歴史のかかわりがわかるコラム「日本とのつながり」を設けるなど、世界史のなかでの日本の位置付けを意識させるよう留意した。
- ・終章「21世紀の課題」（資料を活用して探究する地球世界の課題）では、地球世界の課題について考察し、生徒が自覚と問題意識をもって主体的に課題に取り組めるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
世界史への扉 1 自然環境と人類のかかわり チョコレートがつなぐ世界 2 日本の歴史と世界の歴史のつながり 世界をみた少年たち 3 日常生活にみる世界史 服装／球技	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した（第1号）。 「世界史への扉」では、自主的に課題に取り組み、創造的な主題設定、自由な考察を行うことができるようにした（第2号）。 自然環境と人類のかかわりについてカカオ・チョコレートを取り上げ、自然とともに生きていくことの必要性を学び、環境を保全することの重要性を認識できるようにした（第4号）。 日本の歴史と世界の歴史のつながりについて考察できるページを設けた（第5号）。	全体 6～12 ページ 6～7 ページ 8～9 ページ
第1部 文明と地域世界の形成 序章 地球と人類のはじまり 第1章 西アジア世界・地中海世界の形成 1. オリエント文明の形成 2. ギリシア世界とヘレニズム文化 3. ローマ帝国と地中海世界 第2章 南アジア世界・東南アジア世界の形成 1. 古代インド文明の形成 2. ヒンドゥー国家と社会の展開 3. 東南アジア世界の形成 第3章 東アジア世界・内陸アジア世界の形成 1. 中国文明の形成 2. 中華帝国の形成 3. 中国の分裂と遊牧国家 4. 中華帝国と東アジア 時間軸からみる諸地域世界 古代日本と東アジア世界	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した（第1号）。 諸地域世界を網羅し、歴史史料に基づいて、偏りのない客観性・中立性を確保した記述に配慮した（第1号）。 「時間軸からみる諸地域世界」では、自主的に課題に取り組み、創造的な主題設定、自由な討議を行うことができるようにした（第2号）。 歴史における職業や生活への着目を促すため、章の冒頭見開きページや「AREA」等で生活や労働風景等について叙述し、写真を提示した（第2号）。 部扉やコラム「日本とのつながり」で同時代の日本について叙述し、世界の歴史のなかでの日本を意識できるようにした。また、日本と世界とのかかわりについての記述を充実させ、世界の歴史のなかで、我が国や郷土の伝統と文化が培われてきたことへの理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を養うようにした（第5号）。	全体 全体 65～66 ページ 18～19, 36～37, 45, 48～49 ページ, 31 ページ「ローマの農民」、55 ページ「漢代の狩猟と農耕」等 13, 35, 44, 59, 63, 64 ページ
第2部 諸地域世界の交流と再編 第4章 イスラーム世界の形成と拡大 1. イスラーム国家の成立 2. 軍人政権の時代 3. アフリカ・南アジアのイスラーム化 4. イスラームの文化 第5章 ヨーロッパ世界の形成と変動 1. ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界 2. 西ヨーロッパ世界の成立 3. ヨーロッパ世界の変動 第6章 内陸アジア世界と諸地域世界 1. 北方諸民族と宋 2. モンゴル帝国の興亡 3. ユーラシア諸地域の交流と再編	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した（第1号）。 諸地域世界を網羅し、歴史史料に基づいて、偏りのない客観性・中立性を確保した記述に配慮した（第1号）。 「空間軸からみる諸地域世界」では、自主的に課題に取り組み、創造的な主題設定、自由な討議を行うことができるようにした（第2号）。 歴史における職業や生活への着目を促すため、章の冒頭見開きページ等で生活や労働風景等について叙述し、写真を提示した（第2号）。	全体 全体 109～110ページ 68～69, 82～83, 98～99ページ, 103ページ「江南の水田風景」等

<p>空間軸からみる諸地域世界 『大旅行記』から世界のつながりをみてみよう</p>	<p>「AREA」で自然環境と人類のかかわりについて叙述し、自然とともに生きていくことの必要性を学び、環境を保全することの重要性を認識できるようにした(第4号)。</p> <p>部扉やコラム「日本とのつながり」で同時代の日本について叙述し、世界の歴史のなかでの日本を意識できるようにした。また、日本と世界とのかかわりについての記述を充実させ、世界の歴史のなかで、我が国や郷土の伝統と文化が培われてきたことへの理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を養うようにした(第5号)。</p>	<p>77ページ</p> <p>67, 76, 102, 104, 107ページ</p>
<p>第3部 諸地域世界の結合と変容</p> <p>第7章 アジア諸地域世界の繁栄と成熟</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明と清の繁栄 2. 東アジア諸国の発展 3. 東南アジアの大航海時代 4. イスラーム諸国家の繁栄 <p>第8章 ヨーロッパの拡大と大西洋世界</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大航海時代 2. ルネサンス 3. 宗教改革 4. 主権国家の成立 5. 東方の大国 6. ヨーロッパ人の進出とアメリカ・アフリカ <p>第9章 産業社会と国民国家の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産業革命 2. アメリカ合衆国の独立 3. フランス革命とナポレオン 4. ウィーン体制と1848年革命 5. 国民国家の建設と国際関係の推移 6. ヨーロッパの文化 <p>第10章 世界市場の形成とアジア諸国</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヨーロッパ諸国のアジア進出 2. 西アジアの変動 3. 南アジア・東南アジアの変動 4. 東アジアの変動 <p>資料からよみとく歴史の世界 海外ツアーの誕生</p>	<p>幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>諸地域世界を網羅し、歴史史料に基づいて、偏りのない客観性・中立性を確保した記述に配慮した(第1号)。</p> <p>「資料からよみとく歴史の世界」では、自主的に課題に取り組み、創造的な主題設定、自由な討議を行うことができるようにした(第2号)。</p> <p>歴史における職業や生活への着目を促すため、「AREA」等で生活や労働風景等について叙述し、写真を提示した(第2号)。</p> <p>人権思想の形成や、人権にかかわる歴史的な事象など、さまざまな人権問題について公正な立場から叙述するように努め、互いの権利を尊重する態度を養うようにした(第3号)。</p> <p>「AREA」で自然環境と人類のかかわりについて叙述し、自然とともに生きていくことの必要性を学び、環境を保全することの重要性を認識できるようにした(第4号)。</p> <p>部扉やコラム「日本とのつながり」で同時代の日本について叙述し、世界の歴史のなかでの日本を意識できるようにした。また、日本と世界とのかかわりについての記述を充実させ、世界の歴史のなかで、我が国や郷土の伝統と文化が培われてきたことへの理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を養うようにした(第5号)。</p>	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>187～188ページ</p> <p>147, 186ページ, 117ページ「浙江の製糸業」、150ページ「炭鉱で働く女性と子ども」、152ページ「農業革命」等</p> <p>150～151, 157, 159, 164～165, 171～172ページ</p> <p>147, 186ページ</p> <p>111, 115, 121, 139, 141, 169, 179, 184～185ページ</p>
<p>第4部 地球世界の形成</p> <p>第11章 世界の分割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界を支配する国々 2. アジアの民族主義と国家建設 3. 世界の一体化 <p>第12章 二つの世界大戦</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第一次世界大戦 2. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 3. アジアの独立運動と革命 	<p>幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した(第1号)。</p> <p>諸地域世界を網羅し、歴史史料に基づいて、偏りのない客観性・中立性を確保した記述に配慮した(第1号)。</p> <p>終章「21世紀の課題－資料を活用して探究する地球世界の課題」では、自主的に課題に取り組み、創造的な主題設定、自</p>	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>254～257ページ</p>

<p>4. アメリカ合衆国の繁栄 5. 世界恐慌と自由主義への挑戦 6. 第二次世界大戦</p> <p>第13章 戦後世界の形成と変容</p> <p>1. 冷戦の展開と第三世界 2. 平和共存と多極化 3. アメリカ経済の動揺と国際秩序の変容 4. 冷戦の終結とその後の世界 5. 21世紀を生きる私たち</p> <p>終章 21世紀の課題</p> <p>一資料を活用して探究する地球世界の課題</p> <p>1. 民族や文化のちがいをみとめながら生きる 2. 「青い宝石・地球」を未来にうけつぐ</p>	<p>由な討議を行うことができるようにした(第2号)。 現代の地球世界の課題を取り上げ、その解決に向けて資料を活用し考察させることを通して、地球社会の形成・発展に主体的に取り組む姿勢を育てるようにした(第3号)。</p>	
	<p>人権思想の形成や、人権にかかわる歴史的な事象など、さまざまな人権問題について公正な立場から叙述するように努め、互いの権利を尊重する態度を養うようにした(第3号)。</p>	<p>194～195, 219, 228, 240, 254～255ページ</p>
	<p>現代の地球環境問題について取り上げ、環境を保全するためには一人ひとりの意識を変えていくことが不可欠であることや、国際協力の必要性について考えることができるようにした(第4号)。</p>	<p>256～257ページ</p>
	<p>部扉やコラム「日本とのつながり」で同時代の日本について叙述し、世界の歴史のなかでの日本を意識できるようにした。また、日本と世界とのかかわりについての記述を充実させ、世界の歴史のなかで、我が国や郷土の伝統と文化が培われてきたことへの理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を養うようにした(第5号)。</p>	<p>189, 201, 219, 232, 235, 253ページ</p>
	<p>現代の地球世界がグローバル規模で抱える問題や世界的な取り組み、地域紛争について丁寧に記述し、他国を理解し尊重し、国際社会において我が国が果たすべき役割について考えることができるようにした(第5号)。</p>	<p>250～253, 254～257ページ</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず、さまざまな生徒が無理なく安心して学習できるように配慮した。
- 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。
- 大部分の地図やグラフにおいて、主要国の色を統一するように努めるなど、生徒の理解を助ける工夫をした。
- 各節の冒頭に「問いかげ文」を設けて主体的な学習(アクティブ・ラーニング)ができるようにし、また、小見出しや本文中のゴシックを手がかりに考えることで理解が深まるよう工夫した。
- 地図やグラフなどの理解を助け、情報を整理できるよう、読み取りのヒントとなる視点を提示した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-22	高等学校	地理歴史科	世界史B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	世B311	新選世界史B		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

◎総則における「教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項」, 「教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項」に示された内容に関して、以下の点に配慮した。

1. 言語活動の充実

- ①「時間軸からみる諸地域世界」「空間軸からみる諸地域世界」「資料からよみとく歴史の世界」では、設定した主題について考察し、探究成果を文章でまとめて表現したり、意見を交換したりする活動を提示し、言語能力の育成を図った。
- ②終章では、現代における地球規模の諸課題を取り上げ、これまでに習得した世界史の知識や技能を用いながら、年表・グラフ・地図などの多様な資料を読み取ったり作成したりする活動を通し、言語活動の充実を図った。

2. 見通しを立て、振り返る主体的な学習活動の重視

- ①各章の冒頭に、章の学習内容を概観する見開き頁を設け、学習の見通しを立てやすくするとともに、学習後には、学習内容を振り返り、理解の整理・定着にも活用できるように配慮した。
- ②各節の冒頭に「問いかけ文」を提示して見通しを立て、小見出しや本文のゴシックを手がかりに考えることで理解が深まるように、また主体的な学習（アクティブ・ラーニング）ができるように工夫した。
- ③第1～4部の部扉では、部の学習内容のねらいを提示し、歴史の大きな流れをまとめて見通しを立てやすくした。

3. 障害のある生徒の指導

色覚特性のある生徒にも判別しやすいように、配色に配慮した。

◎地理歴史科（世界史B）の目標に関して、以下の点に配慮した。

4. 地理的条件や日本の歴史と関連付けた世界の歴史の理解

- ①第1～6章の冒頭および「AREA」で地域世界の地理的条件を踏まえ、歴史の展開との結び付きを理解できるように配慮した。
- ②当該国の歴史から見た日本にも着目させ、部扉やコラムで世界の歴史のなかにおける日本の位置付けを理解させ、日本の歴史と世界の歴史との関連付けを図った。

5. 歴史的思考力の育成、国際社会に主体的に生きる自覚と資質の養成

- ①主題を設定し、資料・情報を収集し、考察し表現する活動を適宜盛り込み、歴史学習の基本的な知識・技能、および歴史的な思考力・判断力・表現力を修得できるようにした。
- ②政治、経済、社会、文化、宗教、生活、人物などさまざまな視点から歴史的な事象を取り上げ、歴史を多角的・柔軟に考察する力を養成し、現代の地球社会が抱える諸課題に取り組み、国際社会を主体的に生き抜くための自覚と資質の養成を図った。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
世界史への扉		5～12ページ	6
1. 自然環境と人類のかかわり チョコレートがつなぐ世界	内容 (1) ア	6～7ページ	2
2. 日本の歴史と世界の歴史のつながり 世界をみた少年たち	内容 (1) イ	8～9ページ	2
3. 日常生活にみる世界史 服装/球技	内容 (1) ウ	10～12ページ	2
第1部 文明と地域世界の形成		13～66ページ	
序章 地球と人類のはじまり	内容 (2) ア, イ, ウ	14～17ページ	3
第1章 西アジア世界・地中海世界の形成	内容 (2) ア	18～35ページ	1 3
1. オリエント文明の形成			4
2. ギリシア世界とヘレニズム文化			4
3. ローマ帝国と地中海世界			5
第2章 南アジア世界・東南アジア世界の形成	内容 (2) イ	36～47ページ	7
1. 古代インド文明の形成			3
2. ヒンドゥー国家と社会の展開			2
3. 東南アジア世界の形成			2
第3章 東アジア世界・内陸アジア世界の形成	内容 (2) ウ	48～64ページ	1 1
1. 中国文明の形成			3
2. 中華帝国の形成			2
3. 中国の分裂と遊牧国家			2
4. 中華帝国と東アジア			4
時間軸からみる諸地域世界 古代日本と東アジア世界	内容 (2) エ	65～66ページ	1
第2部 諸地域世界の交流と再編		67～110ページ	
第4章 イスラーム世界の形成と拡大	内容 (3) ア	68～81ページ	7
1. イスラーム国家の成立			3
2. 軍人政権の時代			2
3. アフリカ・南アジアのイスラーム化			1
4. イスラームの文化			1
第5章 ヨーロッパ世界の形成と変動	内容 (3) イ	82～97ページ	9
1. ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界			2
2. 西ヨーロッパ世界の成立			3
3. ヨーロッパ世界の変動			4
第6章 内陸アジア世界と諸地域世界	内容 (3) ウ	98～108ページ	4
1. 北方諸民族と宋			2
2. モンゴル帝国の興亡			1
3. ユーラシア諸地域の交流と再編			1
空間軸からみる諸地域世界 『大旅行記』から世界のつながりをみてみよう	内容 (3) エ	109～110ページ	1
第3部 諸地域世界の結合と変容		111～188ページ	
第7章 アジア諸地域世界の繁栄と成熟	内容 (4) ア	112～127ページ	8
1. 明と清の繁栄			3
2. 東アジア諸国の発展			1
3. 東南アジアの大航海時代			1
4. イスラーム諸国家の繁栄			3
第8章 ヨーロッパの拡大と大西洋世界	内容 (4) イ	128～149ページ	1 1
1. 大航海時代			2
2. ルネサンス			1
3. 宗教改革			2
4. 主権国家の成立			4
5. 東方の大国			1
6. ヨーロッパ人の進出とアメリカ・アフリカ			1

第9章 産業社会と国民国家の形成	内容 (4) ウ	150～173ページ	13
1. 産業革命			2
2. アメリカ合衆国の独立			1
3. フランス革命とナポレオン			3
4. ウィーン体制と1848年革命			3
5. 国民国家の建設と国際関係の推移			2
6. ヨーロッパの文化			2
第10章 世界市場の形成とアジア諸国	内容 (4) エ	174～186ページ	6
1. ヨーロッパ諸国のアジア進出			1
2. 西アジアの変動			1
3. 南アジア・東南アジアの変動			1
4. 東アジアの変動			3
資料からよみとく歴史の世界 海外ツアーの誕生	内容 (4) オ	187～188ページ	1
第4部 地球世界の形成		189～257ページ	
第11章 世界の分割	内容 (5) ア	190～201ページ	7
1. 世界を支配する国々			3
2. アジアの民族主義と国家建設			3
3. 世界の一体化			1
第12章 二つの世界大戦	内容 (5) イ	202～229ページ	18
1. 第一次世界大戦			3
2. ヴェルサイユ体制とワシントン体制			3
3. アジアの独立運動と革命			4
4. アメリカ合衆国の繁栄			1
5. 世界恐慌と自由主義への挑戦			4
6. 第二次世界大戦			3
第13章 戦後世界の形成と変容	内容 (5) ウ, エ	230～253ページ	12
1. 冷戦の展開と第三世界			3
2. 平和共存と多極化			2
3. アメリカ経済の動揺と国際秩序の変容			2
4. 冷戦の終結とその後の世界			3
5. 21世紀を生きる私たち			2
終章 21世紀の課題	内容 (5) エ, オ	254～257ページ	2
－資料を活用して探究する地球世界の課題			
1. 民族や文化のちがいをみとめながら生きる			1
2. 「青い宝石・地球」を未来にうけつぐ			1
		計	140